

特定非営利活動法人 **RDA Japan**
2009年度の事業報告・2010年度の事業計画

【 総会資料 】

総会日時：2010年4月24日（土）13時～15時
総会会場：新橋リバティールビル 701会議室
（東京都港区新橋3丁目8-8-701）

RDA Japan事務局所在地
東京都板橋区坂下1-36-7-103
電話 080-6519-7818
Eメール rda@rdajapan.com

【 謝 意 】

《Happy People Make Happy Horses》

2009年はこの素晴らしい言葉との出会いがありました。馬が私たちに与えてくれる幸せの大きさを噛み締めております。

2009年度はより安全で効果的な乗馬をテーマとして開催した講習会、インストラクター試験、障害者乗馬に携わる組織が一堂に介したシンポジウム、と精力的に活動ができた一年でありました。

写真コンテスト、ボランティア表彰、人材交流といった事業も着実に根付いてきております。日々の運営にあたっては、当会が認定NPOであるがゆえの、公正、公平さを心掛けておりますが、今年度は障がい者乗馬の活動現場であるユニットへのサポートができるよう取り組みを始めました。RDA Japanの原動力である各ユニットがお互いの情報や意見を交換できるように、引き続き発展させてまいる所存です。

冒頭の句は、競馬界で調教をなさる方から伺いました。私たちが馬から受ける恩恵を、また馬にも還元できるよう、2010年も堅実に活動を続けてまいります。

2009年度に賜りました皆さまの篤いお心に感謝申し上げます、あらためて今年度も皆さまの温かいご支援とご協力を賜れますよう、お願い申し上げます。

本日の定例総会の場がもてましたことを重ねて御礼申し上げます。

【設立よりご寄付をいただいた企業、団体様名】

株式会社 エヌケイケイ カバロ東京 株式会社 カンバセッション アンド カムパニー
北澤商事 有限会社 株式会社 クリニコ グレートブリテンササカワ
ゴールドマンサックス証券 株式会社 財団法人 笹川スポーツ財団
ジェーシーアール 株式会社 乗馬ライフ (オーシャンライフ株式会社)
財団法人 損保ジャパン記念財団 (旧安田火災記念財団) 大日本住友製薬 株式会社
東京大崎ロータリークラブ 社団法人 東京倶楽部 社団法人 東京青年会議所
東京都共同募金会 東京マリーンロータリークラブ 凸版印刷 株式会社
財団法人 日韓文化交流基金 日本ケミカルリサーチセンター 株式会社
日本馬主協会連合会 日本エンタープライズ 株式会社
独立行政法人 日本スポーツ振興センター 日本郵政公社 ハートランド牧場
株式会社 ハウフルズ バキュームモールド工業 株式会社
バキュームモールド販売 株式会社 有限会社 ピアッフェ
独立行政法人 福祉医療機構 株式会社 不動産投資研究所
メリアルジャパン 株式会社 モルガンスタンレー証券 株式会社
財団法人 ヨネックススポーツ振興財団 リーバイストラウスジャパン
財団法人 日本社会福祉弘済会 株式会社 リズメディア
(五十音順、敬称略、個人名は省いております)

【2009年度にご寄付をいただいた皆さま】

五味静子様 時田茂光様 長島美恵子様 二宮千寿子様
東関東ホースパーク様 藤澤和雄様

【目次】

■ 次 第	1
■ 2009 年度の役員名簿	2
■ 2009 年度 事業報告に関する件	
年度総括	3
総会、理事会の開催状況	4
2009 年度事業報告一覧	6
■ 2009 年度 会計および監査報告に関する件	
2009 年度 収支決算書	1 1
事業収支明細書 (その 1)	1 3
)	
事業収支明細書 (その 1 3)	1 7
2009 年度 財産目録	1 8
監査報告書	1 9
■ 役員の承認に関する件	
2010 年度の役員 (案)	2 0
■ 2010 年度 事業計画に関する件	
2010 年度の基本方針 (案)	2 1
2010 年度事業計画 (案)	2 2
■ 2010 年度 予算計画に関する件	
2010 年度 収支予算書 (案)	2 5

■ 次 第

1. 開会
2. 総会成立要件の確認
3. 理事長挨拶
4. 議長、書記および議事録署名人の選出
5. 議題審議
 - (1) 第1号議案 2009年度 事業報告に関する件
 - (2) 第2号議案 2009年度 会計および監査報告に関する件
 - (3) 第3号議案 役員承認に関する件
 - (4) 第4号議案 2010年度 事業計画に関する件
 - (5) 第5号議案 2010年度 予算計画に関する件
6. 閉会挨拶
7. 閉会

■ 2009年度の役員名簿

理 事 長	近藤 誠司
副 理 事 長	竹田 謙一
経 理 部	金森 美穂
事 業 部	
事業部長	黒田 朋子
普及・ユニット担当	秦 寛、柴尾 小百合、林原 千夏
人材育成担当	菊地 恵子、浅利 和人、伴 加奈子
馬事担当	竹田 謙一、河合 正人、中田 順寿
医事担当	横山 章光、浅利 和人、林原 千夏
人材等派遣担当	黒田 朋子、土谷 麻紀
国 際 渉 外 部	金子 美保
監 事	五味 静子
	村岡 章

(理事15名 監事2名)

外部評価委員	滝坂 信一
	柏村 文郎
	津田 望
	楠瀬 良
	渡辺 廣人

(敬称略)

（第1号議案）**■ 2009年度 事業報告に関する件****【年度総括】**

2009年度も皆さまからあたたかいご支援とご協力をいただき、たくさんの事業を無事に遂行することができました。あらためて御礼を申し上げます。

6月には那須野ヶ原ファームにてRDA Japan主催の『乗馬インストラクターと医療関係者のための講習会』とRDA Japan認定B級インストラクターの資格試験を行いました。講習会ではオーストラリアからパラリンピックコーチのメアリー・ロングデン氏、ニュージーランドから理学療法士のヴィッキー・メルヴィル氏をお迎えし、3日間にわたる講義と参加者間での意見や情報の交換が行われました。また、インストラクター資格試験ではこれまでの口頭試験を筆記試験に一新し、障害者乗馬のレッスン査定は講義に当たった両女史が担当、騎乗技能と面接は経験豊かな全国乗馬倶楽部振興協会インストラクター資格保有者と医療関係者が担当して、安全で有効な障害者乗馬活動に必要な知識を受験者に要求しました。結果、新たに5名の優秀なインストラクターが誕生したことは大きな喜びです。

11月にはヒトと動物の関係学会と共催でシンポジウム「日本での、障害者乗馬の発展を考える」を開催いたしました。日本障害者乗馬協会、ANTRA、治療的乗馬研究会とRDA Japanが一堂に介し、全国乗馬倶楽部振興協会後援のもとで各々の活動状況や将来の展望などについて意見交換を行えたことは大変有意義でした。

また、例年事業として根付きつつある『写真コンテスト』『ボランティア表彰』に今年度から【藤澤賞】を設けました。これは藤澤和雄調教師のJRA1000勝を記念していただいたご寄付によるものです。

「Happy people make happy Horses」という先生のお言葉も忘れることができません。

最後に、今年度総括といたしまして、人材交流事業の活性化があります。各現場の要請に応じ、理学療法士やインストラクターのご紹介をいたしました。これから活動を始めたい団体や、より効果的な乗馬を目指す団体に対するサポートは必要不可欠であり、それは障害者乗馬の正しい普及を目指すRDA Japanの信念でもあります。

小さな歩みではありますが、着実に活動ができた2009年度と申せます。

2009年度に実施いたしました主な事業は、次の通りです。

<普及・啓発事業>

- 会報の発行
- ガイドブックの頒布
- リボンマグネットの頒布
- ホームページの充実と有効活用
- 人材交流
- クリスマスカードの発送
- 写真コンテスト
- ボランティア表彰制度
- ユニット会議支援
- シンポジウム

<人材育成事業>

- 海外講師の講習会
- インストラクター資格認定
- インストラクター資格更新手続き

【総会、理事会の開催状況】

◆ 総会

日時：2009年4月23日（木） 午後1時から

場所：東京ボランティア・市民活動センター（新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階）

出席数：87名（内、委任状提出者72名／議決権を有する会員数152名）

議長：近藤誠司 書記：林原千夏 議事録署名人：金森美穂、菊地恵子

審議事項：

1. 2008年度事業報告に関する件
2. 2008年度会計報告および監査報告に関する件
3. 2009年度役員承認に関する件
4. 2009年度事業計画に関する件
5. 2009年度予算計画に関する件
6. 定款変更に関する件

審議結果：全審議事項について満場一致で可決されました。

◆ 理事会

※すべての理事会は、理事出席数及び委任状から議事成立の条件を満たし開催しています。

2009年度 第1回理事会

日時：2009年4月23日（木） 午後2時30分から

場所：東京ボランティア・市民活動センター（新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階）

出席理事：金森、菊地、近藤、柴尾、竹田、中田、林原、伴、横山

委任状：5通（浅利、金子、河合、黒田、秦） オブザーバー：五味監事、小泉氏

議長：近藤誠司 書記：林原千夏 議事録署名人：金森美穂 菊地恵子

- 審議事項：
1. 来年度事業について
 2. 理事の役職選任について
 3. 内規の変更について
 4. 次回理事会の開催について
 5. その他

2009年度 第2回理事会

日時：2009年11月15日（日） 午前11時から

場所：東京大学農学部3号館4階教官会議室（文京区弥生1-1-1）

出席理事：近藤、竹田、中田、黒田、金森、菊地、柴尾、林原、秦、横山、土谷、伴

委任状：2通（浅利、河合） オブザーバー：五味監事

議長：近藤誠司 書記：伴加奈子 議事録署名人：竹田謙一、中田順寿

- 審議事項：
1. 2009年度上半期事業報告
 2. 2009年度上半期会計報告
 3. 2009年度今後の事業について
 4. 来年度以降の方針と計画
 5. RDAインストラクター資格基準について（内規）
 6. 次回理事会の開催について
 7. その他

2009年度 第3回理事会

日時：2010年3月7日（日） 午後2時から

場所：銀座ルアール銀座6丁目店（東京都中央区銀座6-12-10 朝日ビル2階）

出席理事：近藤、秦、中田、黒田、柴尾、林原、伴、菊地、金森

委任状：3通（浅利、金子、横山）

議長：近藤誠司 書記：伴加奈子 議事録署名人：金森美穂、菊地恵子

- 審議事項：
1. 2009年度事業報告に関する件
 2. 2009年度会計報告に関する件
 3. 役員承認に関する件
 4. 2010年度事業計画に関する件
 5. 2010年度予算計画に関する件
 6. 総会、次回理事会の開催について
 7. その他

◆ メーリングリスト

理事会を補足するために、全ての役員（理事15名、監事2名）のメールアドレスを登録した「理事のメーリングリスト」を設置しており、2009年度も合計323通にもものぼる活発な意見や情報の交換をしました。このメーリングリストによって、全ての役員がそれぞれの意見やさまざまな情報を瞬時に共有することで、役員から適切な意見提出にもつながりました。

1. 普及・啓発事業

① 事業名：会報「RDA Japan News」の発行

内 容：RDA Japan 活動の広い周知と理解を求めること、そして各地域組織の情報交換を目的に、会報を季刊1日付で発行しました。毎号500部印刷。

活動予定や報告以外にも、会員の近況を知らせる手紙などを掲載しました。

なお、「事業収支明細書（その1）」における各号の発送数は、RDA Japan 会員および医療、福祉、教育、馬事などの関係者に送付した数で、それ以外にもユニット支援として情報提供の一環で各ユニットに必要な数ずつ、またイベントなどで不特定者に配布しました。

実施日：2009年5月1日、2009年8月1日、2009年11月1日、2010年2月1日 計4回

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：RDA Japan 会員およびRDA Japan の活動に関係する団体や個人

受益対象者の人数：500名（印刷部数に同じ）

支出額：96,917円（13ページの「事業収支明細書（その1）」を参照）

② 事業名：「RDA活動のためのガイドブック」の頒布

内 容：2005年度に日本郵政公社様のご支援をいただいて制作した「RDA活動のためのガイドブック」を頒布する事業を継続実施しました。

実施日：通年

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：不特定

受益対象者の人数：多数

支出額：3,010円（13ページの「事業収支明細書（その2）」を参照）

③ 事業名：リボンマグネットの制作と頒布

内 容：“リボンマグネット”は社会貢献活動の新しい形で、“リボンマグネット”の売上がチャリティ活動に充てられ、その活動を支援する証として車に貼るというものです。

2006年度に「東京大崎ロータリークラブ」様のご寄附としていただきました。

頒布価格は1枚1,000円。ユニットには400円で卸し、頒布価格との差額600円はユニットの活動資金として活かしてもらいます。

実施日：通年

従事者の人数：1名

受益対象者の範囲：不特定

受益対象者の人数：多数

支出額：540円（13ページの「事業収支明細書（その3）」を参照）

④ 事業名：ホームページの充実と有効活用

内 容：2008年10月にホームページをリニューアルしました。装いも一新し、情報をリアルタイムでお伝えできるようにいたしました。会報もこのホームページ上からダウンロードできるようになり通信経費の削減にもなりました。多くの方に愛されるホームページを目指して参ります。

実施日：通年

場 所：インターネット利用

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：RDA の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：13,105円（14ページの「事業収支明細書（その4）」を参照）

⑤ 事業名：障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流

内 容：全国各地の障害者乗馬を始めたい団体や、より効果的な乗馬を目指す団体などへ、医療関係者やインストラクターなどの人材の紹介や、助言、支援を行うことで、RDA 活動の普及・啓発をいたしました。

実施日：通年

場 所：全国各地

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：RDA の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：88,474円（14ページの「事業収支明細書（その5）」を参照）

⑥ 事業名：クリスマスカードの送付

内 容：世界各国の関係団体および有識者などとコミュニケーションを図ることを目的に、クリスマスカードを送付しました。

実施日：2009年12月

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：世界各国のRDA関係者

受益対象者の人数：27

通（送付数）

支出額：7,973円（14ページ「事業収支明細書（その6）」を参照）

⑦ 事業名：第4回 RDA Japan 写真コンテスト

内 容：障がい者乗馬の活動現場において、その日々の活動や競技会、イベントなどで記録した写真も多くあり、また、記録の意義を超えて「馬上の笑顔の記憶」として芸術的な作品も多く見受けられます。そこで、2009年度も第4回目となる「RDA Japan 写真コンテスト」を開催し、多数の作品をご応募いただきました。

【藤澤賞】 佐々木芳久 様（岩手県）「久々の乗馬でテンションハイ」

【特別賞】 更家加将 様（山口県）「ヨッコラショ」

【入賞】 佐々木美江 様（神奈川県）「まっすぐ歩いてよお～」

金田美貴 様（神奈川県）「上手にできるかな？」

佐々木芳久 様（岩手県）「動いた！」

黒沼慎太郎 様（山口県）「ハイ、チーズ！」

更家加将 様（山口県）「こんにちは！」

<審査員>

中村義久カメラマン、近藤誠司理事長、竹田謙一副理事長

実施日：2009年11月～2010年1月

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に関わる人

受益対象者の人数：多数

支出額：42,396円（15ページの「事業収支明細書（その7）」を参照）

⑧ 事業名：ボランティア表彰制度

内 容：障がい者乗馬の立役者とも言えるボランティアさん、馬に感謝の気持ちをこめて表彰状を贈る制度です。2年目となる今年は新たに【藤澤賞】を設けました。

受賞者・受賞対象馬は、以下の通りでした。

【藤澤賞】

<ボランティア部門>

恵澤良子様 RDA たま（神奈川県）ご推薦

<馬部門>

秀山号 アバロンヒルサイドファーム（神奈川県）ご推薦

実施日：2009年11月～1月

従事者の人数：5名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に関わる人

受益対象者の人数：多数

支出額：53,581円（15ページ「事業収支明細書（その8）」を参照）

⑨ 事業名：ユニット会議支援

内 容：ユニット（ベースユニット、ユニット、準ユニット）への支援として情報提供などを行いました。また、今年度もユニット会議を3月に開催しました。今後のRDA J a p a nはユニットの協力、関係強化なくしてありえません。会議では忌憚のない意見が交わされ、今後のRDA J a p a nの運営上、大変有意義な会議となりました。

2009年度（登録有効期間3年）に登録しているユニットは以下の通りです。

クローバー（北海道浦河町）

RDAちくだい（北海道帯広市）

パカポコ・クラブ（岩手県西磐井郡）

RDA宇都宮（栃木県宇都宮市）

ハロー・ヒポ（群馬県松井田町）

北区さわやかポニークラブ（東京都北区）

とっぼの会足立ポニークラブ（東京都足立区）

RDA横浜（横浜市都筑区）

RDAたま（横浜市青葉区）

山口県障がい者乗馬の会（山口県宇部市）

<以上、ベースユニット3団体、準ユニット7団体>

実施日：通年

場 所：銀座ルノアール 銀座6丁目店、他

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：ユニットの会員

受益対象者の人数：多数

支出額：109,170円（15ページの「事業収支明細書（その9）」を参照）

⑩ 事業名：シンポジウム

・学生のための障害者乗馬シンポジウム

内 容：帝京科学大学との共催によりメアリー・ロングデン氏、ヴィッキー・メルヴィル氏を講師に迎え、関東近辺の大学生や専門学校生を対象に一般講演と実技指導を行っていただきました。7つの学校から動物関連やリハビリ関連の学科に所属する52名の学生が参加し、学生同士で情報交換が行なわれるなどとても充実した講習会となりました。

実施日：2009年6月13日

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に興味のある学生

受益対象者の人数：多数

支出額：25,050円（16ページ「事業収支明細書（その10）」を参照）

・「日本での、障害者乗馬の発展を考える」シンポジウム

内 容：ヒトと動物の関係学会と共催でシンポジウム「日本での、障害者乗馬の発展を考える」を開催いたしました。日本障害者乗馬協会、ANTRA、治療的乗馬研究会とRDA Japanが一堂に介し、全国乗馬倶楽部振興協会後援のもとで各々の活動状況や将来の展望などについて意見交換を行い、今後につながる有意義な会議となりました。

実施日：2009年11月15日

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に興味のある学生

受益対象者の人数：多数

支出額：0円

（2）人材育成事業**① 事業名：海外講師の講習会**

内 容：オーストラリアからパラリンピックコーチのメアリー・ロングデン氏、ニュージーランドから理学療法士のヴィッキー・メルヴィル氏をお迎えし、栃木県那須野ヶ原ファームにて『乗馬インストラクターと医療関係者のための講習会』を行いました。また、那須野ヶ原ファームの専属トレーナーでもある宮田朋典氏による実馬を用い馬の行動や心理面に重きを置く調教、管理の特別講義もあり、3日間にわたる講義と27名の参加者間での活発な意見や情報の交換が行われました。

実施日：2009年6月6日～8日

場 所：那須野ヶ原ファーム（栃木県大田原市狭原）

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：障害者乗馬に関わる人

受益対象者の人数：多数

支出額：1,010,268円（16ページの「事業収支明細書（その11）」を参照）

② 事業名：インストラクター資格認定試験

内 容：RDA Japan 認定B級インストラクター資格試験を行いました。
筆記試験、引き馬（メアリー、ヴィッキー女史担当）、乗馬技能実技（日体協コーチ・全乗協インストラクター安岡嘉彦氏、全乗協インストラクター大塚千晶氏担当）、障がい者乗馬レッスン実技（メアリー、ヴィッキー女史担当）、面接（安岡氏、大塚氏、RDA Japan 浅利理事担当）の5項目について審査され、新たに5名B級インストラクターが誕生しました。

実施日：2009年6月9日

場 所：那須野ヶ原ファーム（栃木県大田原市狭原）

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：日本国内で障害者乗馬指導をするインストラクター

受益対象者の人数：5名

支出額：243,025円（17ページの「事業収支明細書（その12）」を参照）

③ 事業名：インストラクター資格更新手続き

内 容：RDA Japan 認定「RDA インストラクター資格」取得者の資格更新手続きを行います。
『ログブック』（活動記録）を提出していただき、資格認定委員会が審査を行い、再認定手続きをします。

実施日：通年

場 所：全国各地

従事者の人数：4名

受益対象者の範囲：日本国内で乗馬指導をする RDA インストラクター

受益対象者の人数：19名

支出額：1,770円（17ページの「事業収支明細書（その13）」を参照）

(第2号議案)

■ 2009年度 会計および監査報告に関する件

(2009年4月1日～2010年3月31日)

科 目	予算額	決算額 (単位: 円)		備 考
I. 収入の部				
1. 会費収入				注 1 注 2
正会員費	300,000	432,000		
賛助会費	40,000	44,000	476,000	
2. 寄付金収入				
寄付金収入	400,000	1,346,000		
物品による寄付	0	0	1,346,000	
3. 補助金収入				
民間助成金収入	100,000	0	0	
4. 事業収入				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	0	0		
ガイドブックの頒布	200,000	114,210		
リボンマグネット	10,000	31,400		
HPの充実と有効活用	0	0		
人材交流、助言、指導、支援	0	0		
クリスマスカードの発送	0	0		
写真コンテスト	0	0		
ボランティア表彰制度	0	0		
ユニット会議支援	0	0		
ユニット認定	0	0		
一般向けシンポジウム	0	0		
パンフレットの作成	0	0		
(2) 人材育成事業				
海外講師の講習会	540,000	531,000		
インストラクター資格認定	60,000	75,000		
インストラクター資格更新手続き	9,000	24,000	1,714,760	
5. 雑収入				
雑収入	0	6,000		
受取利息	2,000	1,582	7,582	
当期収入合計(a)	1,661,000		2,605,192	
前期繰越金収入	5,326,601		5,326,601	
収入合計(b)	6,987,601		7,931,793	

注 1 正会員 @3,000円×144名

注 2 賛助会員 @1,000円×44口

科 目	予算額	決算額	(単位：円)	備 考
Ⅱ. 支出の部				
1. 運営支出				
会議費	50,000	0		
通信費	280,000	90,587		
交通費	500,000	190,700		
宿泊費	50,000	6,820		
消耗品費	80,000	13,376		
印刷費	10,000	460		
専門家への相談、依頼費	100,000	63,000		
慶弔費	10,000	5,000		
租税公課	120,000	100,700		
運営事務謝金	240,000	240,000		
諸会費	0	51,000		
什器備品費	0	0		
支払手数料	40,000	5,336	766,979	
4. 事業支出				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	200,000	96,917		
ガイドブックの頒布	8,000	3,010		
リボンマグネット	1,000	540		
HPの充実と有効活用	100,000	13,105		
人材交流、助言、指導、支援	500,000	88,474		
クリスマスカードの発送	10,000	7,973		
写真コンテスト	20,000	42,396		
ボランティア表彰制度	14,000	53,581		
ユニット会議支援	230,000	109,170		
ユニット認定	200,000	0		
一般向けシンポジウム	100,000	25,050		
パンフレットの作成	30,000	0		
(2) 人材育成事業				
海外講師の講習会	1,700,000	1,010,268		
インストラクター資格認定	300,000	243,025		
インストラクター資格更新手続き	10,000	1,770	1,695,279	
3. 予備費				
予備費	2,114,601		0	
当期支出合計(c)	6,987,601		2,462,258	
当期収支差額(a)-(c)	▲5,326,601		142,934	
次期繰越金収支差額(b)-(c)	0		5,469,535	

事業収支明細書 (その1)

事業名：会報「RDA Japan News」の発行

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
—	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部		
1. 消耗品費	8,097	
2. 通信費	88,060	
3. 印刷代	760	
支出合計(b)	96,917	
収支差額(a)-(b)	▲ 96,917	

<発行号数と通信費の内訳>

第 64 号 23,620 円 293 部 (国内 290 通、海外 3 通)

第 65 号 24,650 円 307 部 (国内 304 通、海外 3 通)

第 66 号 20,110 円 249 部 (国内 248 通、海外 1 通)

第 67 号 19,680 円 245 部 (国内 244 通、海外 1 通)

事業収支明細書 (その2)

事業名：「RDA活動のためのガイドブック」の頒布

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
1. 頒布	112,000	56 冊
2. 送料	2,210	
収入合計(a)	114,210	
II. 支出の部		
1. 通信費	3,010	
支出合計(b)	3,010	
収支差額(a)-(b)	111,200	

事業収支明細書 (その3)

事業名：リボンマグネットの頒布

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
1. 頒布	31,000	@1,000 円×19 枚、@400 円×30 枚
2. 送料	400	
収入合計(a)	31,400	
II. 支出の部		
1. 通信費	540	
支出合計(b)	540	
収支差額(a)-(b)	30,860	

事業収支明細書 (その4)

事業名：ホームページの充実と有効活用

(単位：円)

科目	予算額	備考
I. 収入の部		
—	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部		
1. HP更新費用	13,000	
2. 支払手数料	105	
支出合計(b)	13,105	
収支差額(a)-(b)	▲13,105	

事業収支明細書 (その5)

事業名：障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流、助言、指導、支援

(単位：円)

科目	予算額	備考
I. 収入の部		
1. 委託費	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部		
1. 交通費	58,899	
2. 諸謝金	15,000	
3. 宿泊費	13,620	
4. 通信費	80	
5. 印刷費	350	
6. 支払手数料	525	
支出合計(b)	88,474	
収支差額(a)-(b)	▲88,474	

事業収支明細書 (その6)

事業名：クリスマスカードの送付

(単位：円)

科目	決算額	備考
I. 収入の部		
—	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部		
1. 消耗品費	5,103	クリスマスカード代
2. 通信費	2,870	
支出合計(b)	7,973	
収支差額(a)-(b)	▲7,973	

事業収支明細書 (その7)

事業名：第4回 RDA Japan 写真コンテスト

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部 —	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部 1. 通信費	3,510	【藤澤賞】 グラス代 (2年分)
2. 消耗品費	28,676	
3. 諸謝金	10,000	
支出合計(b)	42,396	
収支差額(a)-(b)	▲ 42,396	藤澤調教師からの寄付金を充当

事業収支明細書 (その8)

事業名：ボランティア表彰制度

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部 —	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部 1. 通信費	1,270	【藤澤賞】 グラス代 (2年分)
2. 消耗品費	52,311	
支出合計(b)	53,581	
収支差額(a)-(b)	▲ 53,581	藤澤調教師からの寄付金を充当

事業収支明細書 (その9)

事業名：ユニット会議支援

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部 —	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部 1. 通信費	1,120	
2. 消耗品費	0	
3. 会議費	35,910	
4. 交通費	64,140	
5. 会場借料	8,000	
支出合計(b)	109,170	
収支差額(a)-(b)	▲ 109,170	

事業収支明細書 (その10)

事業名：学生のための障害者乗馬シンポジウム

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
—	0	
収入合計(a)	0	
II. 支出の部		
1. 講師謝金	7,500	
2. 交通費	10,550	
3. スタッフ謝金	7,000	
支出合計(b)	25,050	
収支差額(a)-(b)	▲ 25,050	

事業収支明細書 (その11)

事業名：海外講師の講習会

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
1. 受講料	531,000	参加者 28 名
収入合計(a)	531,000	
II. 支出の部		
1. 講師謝金	202,500	
2. 通訳料	70,000	
3. 会場借馬料	60,000	@20,000×3日
4. 会議費	90,000	
5. 保険料	20,000	
6. 交通費	291,247	
7. 宿泊費	188,200	
8. 消耗品費	9,479	
9. 広告費	20,000	理学療法学会誌へ広告掲載
10. 通信費	7,390	
11. 印刷費	360	
12. モデル騎乗者交通費	30,000	@10,000×3名
13. 支払手数料	3,092	
14. 受講料返金	18,000	1名不参加のため
支出合計(b)	1,010,268	
収支差額(a)-(b)	▲ 479,268	株式会社リズムメディア様からの寄付金を充当

事業収支明細書 (その12)

事業名：インストラクター資格認定

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
1. 検定料	75,000	@15,000×5名
収入合計(a)	75,000	
II. 支出の部		
1. 講師謝金	115,000	
2. 通訳料	20,000	
3. 会場借馬料	20,000	
4. 会議費	12,370	
5. 保険料	3,230	
6. 交通費	22,340	
7. 宿泊費	6,500	
8. 通信費	3,240	
9. 印刷費	240	
10. モデル騎乗者交通費	40,000	@10,000×4名
11. 支払手数料	105	
支出合計(b)	243,025	
収支差額(a)-(b)	▲ 168,025	

事業収支明細書 (その13)

事業名：インストラクター資格更新手続き

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
I. 収入の部		
1. 登録料	24,000	@3,000×8名
収入合計(a)	24,000	
II. 支出の部		
1. 通信費	1,680	
2. 印刷費	90	
支出合計(b)	1,770	
収支差額(a)-(b)	22,230	

■ 2009年度 財産目録 (2010年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額			備 考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金 (1)	2,143			
現金 (2)	4,020			
銀行預金	5,019,494			注 1
郵便貯金	443,878			
流動資産合計		5,469,535		
2. 固定資産				
固定資産合計	0	0		
3. その他の資産				
什器備品	375,330			注 2
電話加入権	53,340			取得原価
書籍 (ガイドブック)	2,248,000			注 3
リボンマグネット	348,000			注 4
その他の資産合計		3,024,670		
資産合計			8,494,205	
II. 負債の部				
1. 流動負債	0			
2. 固定負債	0			
3. その他の負債	0	0		
負債合計			0	
正味財産			8,494,205	

注 1 普通預金 東京三菱銀行広尾支店

注 2 電話機 40,000 円 (取得原価)

ビデオカメラ 104,790 円 (取得原価)

プロジェクタ 44,940 円 (取得原価)

パソコン 185,600 円 (取得原価)

注 3 @2,000 円 (在庫数は 1,124 冊)

注 4 @1,000 円 (在庫数は 348 枚)

■ 監査報告書

私どもは、特定非営利活動法人 RDA Japan 定款第 50 条の規定に基づき、2009 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2010年 4月15日

特定非営利活動法人 RDA Japan

監事 五味 静子

(自書)

五味 静子



監事 村岡 章

(自書)

村岡 章



(第3号議案)

■ 役員承認に関する件

【2010年度の役員（案）】

任期：2010年4月1日から2012年3月31日（2年間） <敬称略>

理事長	近藤 誠司	
副理事長	竹田 謙一	
理事	浅利 和人	
同	河合 正人	
同	五味 静子	
同	土谷 麻紀	
同	富永 淳子	
同	中田 順寿	
同	秦 寛	
同	林原 千夏	
同	伴 加奈子	
同	横山 章光	
監事	村岡 章	(理事12名、監事1名)

【参考】 ※ 役員選任に関する RDA Japan 定款からの抜粋です。

第3章 役員

(種別及び定数)

第14条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 7人以上20人以内

(2) 監事 1人以上

2 理事のうち理事長を1人、副理事長を2人以内とする。

(任期等)

第17条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期が満了した場合においても後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(第4号議案)**■ 2010年度 事業計画に関する件****【基本方針(案)】**

2009年度は数年滞っておりましたRDA Japan認定インストラクター資格試験を行うことができました。日々、障がい者乗馬の現場で研鑽を積んでいらっしゃる方々が受験され、公平、公正な審査の下、受験した5名全員がB級インストラクターに合格されましたことに、強い手応えを感じております。

現在RDA Japanで輩出したB級インストラクターは19名になりました。三年毎の更新にあたっての諸条件を簡易にすべく、2010年は他障害者乗馬グループ、乗馬組織とも連携を図ってまいります。同時にA級インストラクターへの移行法など、委員会やワーキンググループを作りながら準備をし、基本的に奇数年にインストラクター資格試験を行う予定でおります。

2009年に行われた「医療関係者とインストラクターのための講習会」も実を結び、人材交流も増えてまいりました。

2010年度は、藤澤調教師から頂戴したご寄付で、発達障害をテーマとした講習会を開催いたします。併設の実馬レッスンでは、NAHRAのインストラクターとRDAのインストラクターが指導にあたりますので、流派の垣根を越えた意見の交換がなされます。

また、恒例のユニット会議を今年度は岩手のパカポクラブで行います。各現場を訪問、視察することは、各ユニットに大きな成果をもたらすことでしょう。

2010年度の主な事業は以下の通りです。

(1) 普及・啓発事業

- ・会報の発行
- ・ガイドブックの頒布
- ・リボンマグネットの頒布
- ・ホームページの充実と有効活用
- ・障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流
- ・クリスマスカードの送付
- ・写真コンテスト
- ・ボランティア表彰制度
- ・ユニット会議支援
- ・ユニット認定
- ・シンポジウム開催
- ・パンフレットの作成

(2) 人材育成事業

- ・講習会
- ・インストラクター資格更新手続き

【2010年度事業計画（案）】

（1）普及・啓発事業

① 事業名：会報「RDA Japan News」の発行

内 容：RDA Japan とユニットの活動を広く周知し理解を求めること、ユニット同士の情報交換、およびこれから活動を始めたい方への情報提供などを目的として、会報を原則季刊で発行します。経費削減のためホームページからダウンロードできる方以外の皆さまおよび関係各所にはクロネコメール便等を用いて送ります。毎号 500 部印刷。

実施日：2010年5月1日、2010年8月1日、2010年11月1日、2011年2月1日 計4回

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：RDA Japan 活動支援者・団体、その他会報希望者

受益対象者の人数：およそ 500 名

支出額：150,000 円

② 事業名：「RDA 活動のためのガイドブック」の頒布

内 容：2005年8月に加筆改訂し、日本郵政公社様のご支援をいただいて制作した「RDA 活動のためのガイドブック」を2010年度も頒布します。

実施日：通年

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：RDA Japan 会員。その他、ガイドブック内容と RDA 活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：8,000 円

③ 事業名：リボンマグネットの頒布

内 容：「東京大崎ロータリークラブ」様が、2006年度に RDA Japan のために制作して下さった“リボンマグネット”を2010年度も頒布します。一般への頒布価格は1枚1,000円。ユニットには400円で卸し、頒布価格との差額600円はユニットの活動資金として活かしてもらいます。

実施日：通年

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：多数

受益対象者の人数：多数

支出額：1,000 円

④ 事業名：ホームページの充実と有効活用

内 容：2008年度にリニューアルしたホームページの、更なる充実を目指します。具体的には認定インストラクターや各専門家の紹介、障がい者乗馬を行いたい団体への助言、指導の受付などです。

実施日：通年

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：RDA Japan の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：100,000 円

⑤事業名：障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流

内 容：全国各地の団体・個人等を対象に障がい者乗馬活動に対する人材派遣、支援を行うことで、RDA 活動の普及・啓発とします。

実施日：通年

場 所：全国各地

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：RDA 活動に興味のある方、活動してみたい方

受益対象者の人数：およそ1,000名

支出額：500,000円

⑥事業名：クリスマスカードの送付

内 容：世界各国の関係団体および有識者などとコミュニケーションを図ることを目的に、クリスマスカードを送付します。

実施日：2010年12月

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：世界各国のRDA関係者

受益対象者の人数：約30通（送付数）

支出額：10,000円

⑦事業名：RDA Japan 写真コンテスト

内 容：日々の活動や競技会、イベントなどで記録した写真も数多くあり、また、記録の意義を超えて「馬上の笑顔の記憶」として芸術的な素晴らしい写真を公募して「RDA Japan 写真コンテスト」を開催します。

実施日：通年（審査は2011年1月ごろを予定）

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：障がい者乗馬活動に参加した方々

受益対象者の人数：多数

支出額：20,000円

⑧事業名：ボランティア表彰制度

内 容：RDA の理念に則り活動しているユニット・準ユニットを支え、貢献してきたボランティアや馬を RDA Japan が表彰します。

実施日：通年（審査は2011年1月ごろを予定）

従事者の人数：5名

受益対象者の範囲：ユニットおよび活動に参加するボランティア、馬

受益対象者の人数：多数

支出額：14,000円

⑨事業名：ユニット会議支援

内 容：全国各地のユニット同士の連携や情報交換、RDA Japan への問題提起や要望のまとめを目的とした会議への支援を行います。今年度は岩手のパカポコクラブにて開催し、会議と同時に勉強会も行います。

実施日：2010年7月24日～25日

場 所：パカポコクラブ（岩手県）

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：ユニットおよびその活動の参加者

受益対象者の人数：多数

支出額：600,000円

⑩ 事業名：ユニット認定

内 容：新規に RDA ユニットに加入を希望する団体の活動状況を視察し、ユニット認定を行います。

実施日：通年

場 所：未定

従事者の人数：15名

受益対象者の範囲：ユニット加入希望団体

受益対象者の人数：多数

支出額：200,000円

⑪ 事業名：シンポジウム

内 容：RDA 活動普及のためのシンポジウムを開催します。

実施日：未定

受益対象者の範囲：RDA 活動に興味のある方

受益対象者の人数：多数

支出額：100,000円

⑫ 事業名：パンフレットの作成

内 容：RDA 活動の普及のためパンフレットを作製、配布します。

実施日：通年

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：RDA 活動に興味のある方

受益対象者の人数：多数

支出額：30,000円

(2) 人材育成事業

① 事業名：講習会「乗馬と発達障害児を考える」(仮題)

内 容：藤澤調教師から頂戴したご寄付で、発達障害をテーマとした講習会を関東地区と北海道地区(予定)で開催いたします。心理学の先生による発達障害の講義、障害者乗馬インストラクターによる実馬を使ったレッスンをを行います。NARHA のインストラクターと RDA のインストラクターが指導にあたりますので、流派の垣根を越えた意見の交換がなされま

実施日：2010年12月4日5日

場 所：関東、北海道(予定)

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：講習会参加者とその指導を受ける人

受益対象者の人数：多数

支出額：900,000円

② 事業名：インストラクター資格更新手続き

内 容：RDA Japan 認定「RDA インストラクター資格」取得者の資格更新手続きを行います。『ログブック』を提出していただき、資格認定委員会が審査を行い、再認定手続きをします。

実施日：通年

従事者の人数：7名

受益対象者の範囲：RDA Japan 認定インストラクターとその指導を受ける人

受益対象者の人数：多数

支出額：10,000円

(第5号議案)

■ 2010年度 予算計画に関する件

2010年度 収支予算書(案)

(2010年4月1日～2011年3月31日)

科 目	金 額 (単位:円)			備 考
I. 収入の部				
1. 会費収入				注 1 注 2
正会員費	300,000			
賛助会費	40,000	340,000	340,000	
2. 寄付金収入				
寄付金収入	400,000			
物品による寄付	0		400,000	
3. 補助金収入				
民間助成金収入	100,000	100,000	100,000	
4. 事業収入				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	0			
ガイドブックの頒布	200,000			100冊
リボンマグネット	10,000			10枚
HPの充実と有効活用	0			
人材交流、助言、指導、支援	0			
クリスマスカードの発送	0			
写真コンテスト	0			
ボランティア表彰制度	0			
ユニット会議支援	0			
ユニット認定	0			
シンポジウム	0			
パンフレットの作成	0	210,000		
(2) 人材育成事業				
講習会	250,000			
インストラクター資格更新手続き	9,000	259,000	469,000	
5. 雑収入				
雑収入	0			
受取利息	2,000	2,000	2,000	
当期収入合計(a)			1,311,000	
前期繰越金収入			5,469,535	
収入合計(b)			6,780,535	

注 1 正会員 @3,000円×100名

注 2 賛助会員 @1,000円×40口

予算計画

科 目	金 額 (単位:円)			備 考
Ⅱ. 支出の部				
1. 運営支出				
会議費	80,000			
通信費	200,000			
交通費	500,000			
宿泊費	50,000			
消耗品費	50,000			
印刷費	10,000			
専門家への相談、依頼費	100,000			注 3
慶弔費	10,000			
租税公課	120,000			
運営事務謝金	240,000			注 4
諸会費	60,000			
什器備品費	0			
支払手数料	10,000	1,430,000	1,430,000	
4. 事業支出				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	150,000			
ガイドブックの頒布	8,000			
リボンマグネット	1,000			
HPの充実と有効活用	100,000			
人材交流、助言、指導、支援	500,000			
クリスマスカードの発送	10,000			
写真コンテスト	20,000			
ボランティア表彰制度	14,000			
ユニット会議支援	600,000			
ユニット認定	200,000			
シンポジウム	100,000			
パンフレットの作成	30,000	1,733,000		
(2) 人材育成事業				
講習会	900,000			
インストラクター資格更新手続き	10,000	910,000	2,643,000	
3. 予備費				
予備費	2,707,535	2,707,535	2,707,535	
当期支出合計(c)			6,780,535	
当期収支差額(a)-(c)			▲5,469,535	
次期繰越金収支差額(b)-(c)			0	

注 3 税理士や弁護士への相談、依頼

注 4 @20,000円×12ヶ月(運営事務補助謝金)